



富山国際大学附属高等学校

学校賞・個人賞 受賞

JICA国際協力エッセイコンテスト2021にご応募頂き、団体賞を受賞された学校のご担当者様にアンケートを実施しました。エッセイコンテストを学習活動に利用したいけれど、どうしたらいいかわからない、そんな先生方のご参考になりましたら幸いです。

Q ご応募のきっかけを教えてください。

2017年度の1学年全体で応募したことが最初です。若い感性で世界を見つめ、自分の意見を発信する好機だと考え、特定のクラスだけでなく学年全体で発信力を養おうと思ったのがきっかけです。各クラスで視点が面白いものを選び、内容が深いものになるよう指導していきました。そうすることで、多くの派遣プログラムや弁論大会などに出場することができました。それから複数の学年へ、そして学校全体で応募するようになり、大変喜ばしく思います。これからも継続していきたいと考えています。

Q どの様に実施されましたか？

ゴールデンウィークや夏休みの宿題として実施しました。

Q 国際理解教育を題材とした授業や取り組みはありますか。

JICA海外協力隊経験者や外務省などを講師に招いて開催する国際理解講座、地球規模の諸問題について考える「グローバルスタディーズ」という授業を行っています。また、本校は2012年にユネスコスクールの認定を受けており、学校全体でSDGs、ユネスコ活動、探究活動等を実施しています。

Q JICAエッセイコンテストを含めた国際理解教育の取り組みの中で、生徒さんの学びや気づきの変化などはありましたか。

身の回りのことだけでなく、世界全体を見つめて、自分の考えを表現することで、新たな発見をする生徒が増えたように感じます。今後は、宿題を出す際にどのようなポイントで書いたら良いのか、そして、書いた後にクラスや学年で発信していく活動を増やしていく予定です。

Q その他、質問や感想がありましたらご記入頂けると幸いです。（自由記述）

自分の書いたエッセイが選ばれた生徒もおり、表現することに自信を持つようになったようです。今後ともよろしく願いいたします。

ご回答ありがとうございました。